

マロニエ 10周年記念号



●発行 社会福祉法人 かんな会
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

マロニエ開所10周年を寄せて

理事長 小林敏夫



平成二十二年四月一日に開所以来、十年があつという間に経ってしまいました。

この間、地域の方々をはじめ国・県・市、多くの関係者の皆様には多大なご支援、ご協力を頂き感謝に堪えない次第であります。

開所当初に揚げた三つの基本理念、①一人ひとりの人権の尊重、②質の高い支援、③地域社会での共生、を心に置き、研鑽に励みながら取り組んでまいりました。二十名程の利用者の皆さんはマロニエ1・2に分かれ、エコクラフトのカゴやバック、レザークラフトを作り、各種の内職作業などに一生懸命取り組んで来ました。出来上がった作品は藤華祭、かな祭などのイベントなどで販売し、好評を得ています。また、自

立課題を設定し、一人ひとりに合った活動もしてきました。

一方、生活に潤いや楽しさを感じてもらえるような行事や活動も行ってきました。例えば春から夏にかけてはカレーパーティ、パーベキュー、秋には福祉パレードへの参加、東武動物公園やサファリワールド等への日帰り旅行、冬にはクリスマス会、餅つき、イチゴ狩り、あすなる祭への参加など。

十年という節目に立った時、今までの十年を糧に、さらなる発展を考えていきたいと思えます。

令和二年四月は次の十年の第一歩です、「初心忘れるべからず」の格言の如く初心に立ち返り、より一層の研鑽に努め、利用者皆さんを支え、共生していきたいと思えますので関係機関、関係者の皆様にはこれまでと変わらぬご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

マロニエ10年の歩み

- 二十二年 4月 障害福祉サービス事業所「マロニエ」開所
生活介護 20名
(かなの里 通所部8名、市デイサービスセンター「もくの家」7名を吸収合併)
マロニエ1は新築・2は「もくの家」を利用
- 二十三年 10月 県内特別支援学校生実習受け入れ
2月 「もくの家」は、「かなの里」のプレイルームとなり、新マロニエ2作業棟完成
- 二十四年 4月 マロニエ2利用開始(利用者23名に)
- 二十五年 4月 AED寄贈(松田直樹メモリアルより)
5月 赤い羽根、県共同募金会より
送迎車(キャラバン)寄贈
(利用者25名に)
洗たく機用倉庫作る
- 二十六年 4月 ポプラ開所に伴い、ポプラへ6名移り、
利用者19名に
8月 1、2にトイレ改装
西南に倉庫設置
- 二十七年 11月 職員研究発表会で最優秀賞(松浦さん)
3月 あすなる祭、作品部門で金賞
- 二十八年 6月 2の入口の改修工事
- 二十九年 2月 送迎車用(5人乗り)車両購入
三十一(令和元)年度
6月 1に倉庫
12月 送迎車両購入(4人乗り)
現在利用者21名



開所当初のマロニエ



現在のマロニエ

10年間を振り返って

初代保護者会長 飯塚照代

マロニエが開所して十年、大変嬉しく思います。かな会に関わってる方々に感謝申し上げます。

十年前、娘は「かなの里」の一区画、デイサービス「もくの家」からの利用でした。当時、学校の長期休日に利用していました。

卒業後二年で、また戻ってきましたが、かなの里の、一人一人の人権尊重、より高い支援の追及、地域社会での共生をめざすの三本柱の理念を、職員が全力で取り組む方針が、居心地の良い場所だった、と思います。「もくの家」から「マロニエ」に変わっても、その理念は変わることがありませんでした。

毎月の季節行事は励みであり、いつも笑顔です。二年に一度の親子旅行も、私にとっても楽しみの一つです。

これからもマロニエが、変わることなく、本人と保護者が笑顔で過ごせるようにと願っています。十周年おめでとうございます。

保護者会長 石原順子

マロニエが開所して十一日、大勢の皆様のご協力のお陰です。

息子は重度の自閉症で、通所して六年目です。始めの数年は、秋になると気持ち不安定になり、大騒ぎすることがありました。最近ではすっかり落ち着いて過ごせる日が増え、休まず通っていることが、とても嬉しく思っています。

毎年5月のバーベキューは、保護者も一緒に、屋根のある甘楽ふるさと館は、雨が降っても安心です。二年に一度の親子旅行も、昨年は東京デイズニールランドでした。とても楽しい一日を過ごすことができました。

その他、グループ外出ではいちご狩り、プール外出等、家族だけでは経験させられない事を沢山して頂き、とても感謝しています。マロニエの発展に、保護者として、なにができるか協力しながら進んでいきたいと思えます。これからも宜しくお願いします。

前サービス管理責任者

松井保隆

(ボプラ施設長)

初めは何を準備したらいいのか戸惑いながらの日々でした。開所初日は一時間以上前に着いて、利用者さんのこと、一日の流れ、送迎のことなど確認しては、ドキドキしていました。

一年目はとにかく夢中であつという間に駆け抜けた一年でした。利用者さんにとっても、初めての場所、職員、活動、行事と、初めて尽くして、職員一同、わかる形で伝えることに頑張っていたと思います。

今では恒例となつている昼食外出、プール外出、日帰り旅行など、外へ出掛ける行事は特に注意と準備を念入りに行いました。楽しい外出となった時は、支援助も、何とも言えない幸せな気分になりました。

あの東日本大震災のあつた日も共に乗り越え、4年間という短い期間でしたが、マロニエで過ごした経験は、貴重な思い出、財産になっています。ありがとうございます。

施設長 島野信美

関係各位、保護者の皆さま、いつもご支援ご協力、ありがとうございます。

平成22年4月1日より、自立支援法施行に併い、「マロニエ」は誕生しました。かなの里南側の庭園だった所で、そこに植えてあつたマロニエの名前だけ残しました。利用者は、通所部の8名、市デイサービスセンター「もくの家」から7名、その他7名、計22名、職員は新人も加え、8名でスタートしました。

かなの里と同一敷地です。藤華祭、納涼祭、音楽会、もちつき、あすなろ祭を共ににぎやかに行うことができ、喜びや楽しさを共有しています。歯科検診、春、秋の健康診断、インフルエンザの予防接種等、同じ日にできています。

10年前の4月の開所式に、「世界に一つだけの花」を共に希望に胸をふくらませ乍ら歌ったその気持ちを忘れずに、これからも前進していきたいと思えます。

主任支援員 生方正吾

マロニエが開所して10年経ち、私も新卒で10年働いてきました。

歴史を振り返りますと、開所して2年後、今のプレイルームから2の建物が新しく出来ました。初めは、かなの里と同じ給食でしたが、3年目より宅配弁当に変わりました。4年後にできたボプラへは、6名移動しました。行事の一つのバーベキューも、最初は駐車場でブルーシートをしてやりましたが、かなの湯へ移り、今は甘楽ふるさと館となりました。

研修でよく耳にする利用者主体の自己決定、自立を基本とし、そのためのその人に合わせた環境作り(合理的配慮)を工夫していきたいです。苦手なところではなくできるところ、ストレングスを見つけ、強みを生かすことの大切さも学びました。通所として家庭との連携をしっかりと図り、楽しく充実した日々が送れるようになっていきます。どうぞよろしくお願いたします。

10年間の「マロニエ」



平成22年度9月22日
日帰り旅行（グループ旅行）



平成22年度12月24日
クリスマス会



平成23年度5月3日
土と火の里 販売



平成23年度3月14日
いちご狩り



平成24年度10月11日
日帰り旅行



平成24年度1月29日
出初め式



平成25年度4月19日
才武給食開始



平成25年度5月9日
キャラバン寄贈



平成26年度6月27日
バーベキュー



平成26年度1月16日
新年会



平成27年度8月1日
納涼祭



平成27年度9月2日
親子旅行（ディズニーランド）



平成28年度4月1日
お花見



平成28年度6月11日
藤華祭



平成29年度9月22日
親子旅行（ひたち海浜公園）



平成29年度1月8日
初詣



平成30年度6月7日
歯科検診



平成30年度7月6日
七夕



平成31年度9月24日
マロニエ前で写真撮影



平成31年度2月4日
節分・豆まき

新たな決意のもとに

サービス管理責任者 飯島 裕

平成22年4月に開所して
から、令和2年3月でマロ
ニエも10年経ちました。

私は昨年度より、かな
の里から異動し、マロニエ
のサービス管理責任者とし
て勤めさせて頂いています。
一年経ち、入所施設とは違
った難しさを感じましたが
楽しいことも沢山あり、と
ても充実した一年でした。

利用者の方の支援におい
ては、まだ〜勉強不足で
個々の方に満足な支援が行
き届かなかったことは、私
自身の反省点でもあります。
通所は入所と違い、生活
の場が昼と夜では異なりま
す。そのような中、利用者
の方の混乱が少なくなるよ
う、保護者の皆様へは、日
頃よりご相談をさせて頂い
たり、アドバイスを頂いた

り、大変感謝しております。

マロニエの支援目標「一
人ひとりが主体的に活動し、
社会参加することを支援す
る」「一人ひとりの特性を
理解、把握し、その人に合
った支援をする」を、令和
2年度も引き続き行ってい
きたいと思えます。

10年間、大過なく継続し



てこれたのも、多くの関係
者皆様のお陰です。職員一
同、深く御礼申し上げます。
これからもマロニエの利
用者が、楽しく、豊かに生
活できるよう、研鑽を重ね、
日々の支援に携わっていき
たいと思えます。



マロニエの仲間たち

